

1. これまでの基盤整備

- ① 本島内移動（陸上交通）：移動能力向上
- ② 島間移動/観光客受け入れ（海路・空路）：移動能力/受け入れ能力向上
- ③ 災害対応力（台風）：防災力向上・渇水問題改善

⇒当初の問題は改善 しかし 新たな課題

- ① 本島内移動利便性：渋滞・公共交通・交通弱者移動
離島架橋等の維持管理
- ② 観光客増加と Carrying Capacity：水・ゴミ・渋滞／自然環境生態系
- ③ 島嶼観光地の災害脆弱性（災害弱者増加・災害弱地域・受援能力）

2. 計画の総合化（現状と課題）

(1) 総論：計画システムの基本的考え方（問題認識等）

- ・問題の明確化・構造化
- ・計画代替案（施策）間のトレードオフ・合意形成・コンフリクト

(2) 各論

- ① 陸上交通
 - ・小規模市町村と連携
 - ・機能を発揮させる環境
- ② 海上交通・航空交通
- ③ 観光・自然環境
 - ・観光の効果と影響：渇水／自然環境・生態系
- ④ 防災
 - ・観光振興と災害リスク／被災ポテンシャル
 - ・平常時と災害時
 - ・島嶼・観光地としての沖縄が被災するということ
- ⑤ その他の社会基盤施設
 - ・下水道
 - ・都市公園
 - ・学校施設

(3) まとめ